



ぱわ 天白を元気にする力(パワー)

わ 地域をつなげる輪(わ)と和める(わ)たまり場づくり

そんな思いがひとつになって**ぱわわ**と名づけました!

[発行] 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会

〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階

TEL809-5550 FAX809-5551

E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp



視覚障がいその他の理由で活字のままでも読むことが困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。

クローズアップ!

地域支えあい事業 はじめました

ご近所ボランティアさんにインタビューしました♪



八事東学区

地域支えあい事業とは?

高齢や障がいのある方、子育て中の方など、ちょっとした困りごとを、ご近所のボランティアのみなさんと助け合って解決しようとする事業です。この事業を通じて、地域のつながり作りや支えあいの意識を高め、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指します。

この事業は名古屋市が実施主体で、小学校区ごとに設置されている地域福祉推進協議会が取り組みを進めています。

天白区では、高坂・山根・表山・しまだ・平針南・平針北学区でも実施しております。

八事東学区では、どんな取り組みをするの?

資源ごみ・粗大ごみの搬出の手伝い、電球交換などの生活支援が主ですが、1時間ぐらいで活動できることがあれば、ボランティアさんと相談してやっていこうと思います。



高橋さん (民生委員・児童委員副会長)

赤崎さん (区政協力副委員長)

近藤さん (民生委員・児童委員長)

近藤さん (区政協力委員長)

山本さん

鈴木さん

わたしたちは、ご近所ボランティアコーディネーターです。少しでも地域のお役に立てたら嬉しいです!

地域支えあい事業に 取り組もうと思った「きっかけ」は?

社協の職員に口説かれたというのがありますが、やはり地域の課題はできるだけ地域のみなさんと支えあいながら解決していきたいですね。「お互いさま」と言い合える地域にしたいです。災害が起こった時にも、この事業を通じて築いた関係が活かせると思います。(近藤区政協力委員長)

八事東学区は、どんな地域になってほしい?

誰とでも話ができる「まち」になればいいな。昔でいう向こう三軒両隣のようご近所で助け合える地域にしていきたいよね。この事業をきっかけに、ご近所づきあいがなかった人も仲良くなるきっかけになると思います。(近藤民生委員・児童委員長)

その他6学区の地域支えあい事業 相談窓口

学区名	開設場所	連絡先	受付曜日時間
高坂	高坂コミュニティセンター	804-5586	月~土曜日 10:00~17:00 (ご近所ポラ駐在:火・木・金10:00~17:00)
山根	山根コミュニティセンター	804-4960	月~土曜日 10:00~16:00
表山	表山コミュニティセンター	080-3690-1184 080-3690-1186	月~金曜日 9:30~17:00 (ご近所ポラ駐在:月・金曜日10:00~12:00)
しまだ	市宮御前場荘集会所	080-3621-1515	火・金曜日 13:00~16:00
平針南	平針南コミュニティセンター	090-6610-3381	火・金曜日 9:00~12:00
平針北	平針北コミュニティセンター	806-7722	火・金曜日 9:00~12:00

ちよこつとボランティア 大募集!!

八事東学区 地域支えあい相談窓口

日時 火・木・土曜日 9:30~12:30

TEL 832-8822 (八事東コミュニティセンター)

天白区社協キャラクター てんてん

ともいく部会活動報告

みんなが共に生きていくために、自分ができる行動を考えてみませんか?

「第4次天白区地域福祉活動計画」(天白区にお住まいの方々や関係機関の職員の方々と共に策定した、地域福祉を推進していくための行動計画)を推進する「ともいく部会」では、外出先の店舗等で困ったり助かったりした経験談をおきする記述式のアンケート調査を行いました。そして、ご協力いただいた168名様分の声をもとに「配慮があると助かること」を考えました。多様な人々が暮らす地域で共に生きていくために、自分ができる行動とは? みなさんも考えてみませんか。

人の対応による配慮

★店舗等スタッフの方にお願ひできると助かる配慮★

- 店舗等に、フロアを案内する専属係の方を配置
- 高い場所にある商品等を取るのに困っている方がいたら、声をかけてお手伝い
- 会計レジと会計後の商品を袋詰めする台がわかれていない店舗では、必要に応じて会計後のカゴを袋詰め台まで運搬
- 会計レジと会計後の商品を袋詰めする台がわかれていない店舗では、必要に応じて会計後の商品を袋詰めする作業をお手伝い
- セルフレジの使い方に戸惑っている方がいたら、声をかけてお手伝い
- 飲食店で注文に困っている方がいたら、声をかけてお手伝い



セルフレジの使い方が分からない。

★店舗等スタッフ・利用者の方、双方にお願ひできると助かる配慮★

- 相手と同じ高さの目線で、お手伝いが必要かを確認
- 難しい、抽象的な言葉は避けて、ゆっくり、分かりやすい言葉で、相手のペースに合わせて応対 (耳の不自由な方には、身振り手振りや、筆談でコミュニケーション)
- 前後に開閉する開き戸などの前で困っている方がいたら、声をかけて開閉をお手伝い
- 段差の前で困っている方がいたら、声をかけてお手伝い
- エレベーター利用者が多くいる場合は、車いす・ベビーカー・歩行者を使用されている方を優先し、エスカレーターや階段を利用

何かお手伝いできることはありますか?



店舗等の設備・環境の改善による配慮

★ちょっとした工夫で取り組んでいただけると助かる配慮★

- 出入口付近等に、荷物を整理したり帰る準備をしたりできる机やイスを設置
- 通行の妨げにならないように、通路に置いてある物を整理
- 車いす・ベビーカー・歩行者・買い物カートを使用されている方同士もすれ違えるように、幅広い通路を確保
- 靴の脱ぎ履きが必要な場所に、イスや靴べらを設置
- 必要な情報は、文字・点字・音声など様々な手段で情報提供
- 商品の価格を大きく見やすく表示
- トイレ内の荷物かけ用フックや荷物置き用棚は、利用しやすい高さに設置
- 乳幼児を乗せられるカートや車いすの貸出、ベビーカーや歩行者のお預かりに対応
- 乳幼児の遊べるキッズスペースを設置
- 多様な利用者に配慮し、完備している設備やサービスの情報をホームページ等で公開

通路が狭いとすれ違えない。



値段の文字が小さくて見えない。



★改修等に伴う経費がかかっても取り組んでいただけると助かる配慮★

- 出入口に近い場所に、車いすを使用されている方や妊婦の方等が利用できる屋根付き駐車場を設置
- 出入口の幅は広くし、自動ドアや引き戸に
- 段差や階段があるところには、スロープや手すりを設置
- 階段やエスカレーターしかないところには、エレベーターも設置
- 飲食店等では、乳幼児用のイスや座敷席、車いすに乗ったまま利用できる設備
- 車いす・ベビーカー・歩行者等を使用されている方でも入れるように、出入口や中の広いトイレや試着室を設置
- トイレ内に、手すり、ベビーチェア、オムツ交換台、子ども用トイレ・手洗い・踏み台を設置するなど、多様な利用者に配慮した設備を整え、清潔に定期清掃

段差があってお店に入れない。





認知症の人の世界を知る(その57)

『認知症の方の理解』

～かたちは変わっても、変わらない愛情～

Mさん(女性86歳)は、団地で「モモ」(雌犬18歳)と暮らす短期記憶障害の認知症の方です。近所の娘さんとヘルパーがMさんを支援していました。

ある日、モモが腎臓を悪くして入院しました。娘さんは、モモの入院をMさんに説明しましたが、Mさんはすぐ忘れてしまいます。Mさんは、モモの入院後「モモがいらない!」と頻りに娘さんへ電話をかけるようになり、モモを探そうと徘徊も増えました。

困った娘さんは、対応として、Mさんが忘れても思い出せるよう入院の説明をメモに残したり、寂しくないよう様々なぬいぐるみを部屋に置いたり、夜の徘徊前のタイミングに電話したり…など行いましたがうまくいきませんでした。

試行錯誤の日々の中、Mさんから娘さんへの電話が無い日がありました。心配した娘さんが訪問すると、Mさんはぬいぐるみを抱いて嬉しそうに「モモ、いい子だね」と話しかけていました。そのぬいぐるみは、大きさとは色はモモに近いですが、顔は全く似ていない白い熊でした。

今までぬいぐるみには全く興味を示さなかったMさん。きっかけは不明です。突然、数多のぬいぐるみの中の白い熊が、Mさんにとっての「モモ」になりました。その日以降、Mさんの不穏な行動は減っていき、娘さんは安堵しました。

このように、認知症の方への支援は、失敗を繰り返しながら、思いもよらないことで状況が好転する場合があります。逆もまた然りで、その繰り返しです。

しばらくして、犬のモモは無事退院しました。術後のモモの世話はMさんには困難であり、混乱を避けるため、娘さんがモモを引き取ることにしました。

娘さんのドタバタは露知らず、今日もご機嫌なMさんは、白い熊のぬいぐるみを傍に置いて「モモ」への変わらぬ愛情を注ぎ続けています。(モカ)



"世間話"は難しい!?



広汎性発達障害のB君は小学3年生から分団登校班に入れてもらい集団登校しています。コミュニケーションは取れますが得意ではありません。お喋りはせず静かに登校するのがB君スタイルです。

ある朝、同じ班の女の子が「おはよう、寒いね。わたし5枚も重ね着しちゃった」とB君に話しかけてくれました。でもB君はうつむいて何も言いません。横で見ていた私は「せっかく話しかけてくれたんだから返事をしないと」と小声で促しました。

B君は「誰に話しているのか分からなかった」と言っていました。

「世間話って、その場にいる人に何となく天気の話とかするんだよ」と教えました。

雪の積もった翌朝、B君はソワソワしながら集合場所へ行きました。雪の日の子供も達はいつも以上に元気で楽しそうにお喋りをしています。

そんな中、いつもは黙っているB君が端の方で何か呟いています。なんて言ってるのかな?と近づいて

聞いてみると「雪だね...車にも積もってる...寒いし...」とマスクの中でゴニョゴニョ。「雪が嬉しいの?」と尋ねると「天気の話...」と言いました。

前日の出来事をすっかり忘れていた私は何の事か分からなかったのですが、B君は昨日の指摘を受けて、今朝は何か喋らなくてはと思ったようです。楽しげなみんなの声にかき消され、B君渾身の世間話は独り言と化してしまいましたが。(笑)

私はこの不器用ながらもまっすぐな健気さはB君の長所のひとつでもあるなあと感じています。

「世間話は無理にしなくてもいいよ」と伝えると、ホッとしたようで翌日からはこれまで通りのスタイルで登校しています。

(ナッチ)



この指とまれ! 情報コーナー

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止させていただく可能性もあります。

点訳グループみなづき会実施 「誰でもできる点字教室」(全2回連続講座)参加者募集!

点字は、目の不自由な方が手で触って読む文字です。点字に触れてみたい方、学んでみたい方、ぜひご参加ください。

- 日 時: 6月9・16日(木) 10:00~12:00
- 場 所: 天白区在宅サービスセンター 研修室 (原一丁目301 原ターミナルビル3階)
- 内 容: 点字の読み書きなど
- 定 員: 先着20名
- 費 用: 200円(保険料含む)
- 持ち物: 鉛筆またはシャープペン、消しゴム
- 申 込: 6月1日(水)までに、天白区社会福祉協議会へ電話、FAX (住所・氏名・電話番号・「点字教室希望」と明記)または窓口で受付



マスコットキャラクターにこっち ふれ愛ネット天白



「ふれ愛ネット天白」事務局 (天白区社会福祉協議会内) TEL809-5550 FAX809-5551

https://www.facebook.com/fureainettenpakukufukushikuminnotsudo
スマートフォンなどをお使いの方は、こちらのQRコードからFacebookページにアクセスしていただけます。

「成年後見制度」について学びました!



令和4年1月15日(土)に「成年後見制度」についての学習会を開催。講師に名古屋市成年後見あんしんセンター松井主事にお越しいただき、お話を伺いました。資料や過去の事例などに基づいたお話は盛りだくさん。認知症、知的障がい、精神障がいなどによって「判断する能力が十分でない方」を対象に、本人の権利や財産を守るために設けられた制度です。家庭裁判所に申し立てして選任された後見人等が、契約や財産管理を行います。申し立ては、本人、配偶者、4親等内の親族ですが、決定には2カ月ほどかかり、後見人を選ぶのは裁判所なので、希望通りの人が選ばれるとは限りません。一度後見人を申し立てると、やめることも、後見人を変更することも裁判所の許可が必要です。障がい者と接している人たちにはとても身近な問題です。活発に質問もでて、時間いっぱいお話していただきました。

時間や費用もかかることなので、いざという時に困らないように、今から制度についてもっと学習をして、備えておきたいと思いました。



会員募集中! ふれ愛ネット天白とは 天白区内の障がい児者・子ども・高齢者に関わるボランティア・団体・施設等が所属するゆるやかなネットワークです。

赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました!!

令和3年度 赤い羽根共同募金実績額
赤い羽根共同募金 8,983,077円
歳末たすけあい募金 562,890円



今年度も区民の皆様から多くの募金をお寄せいただきました。この募金は愛知県共同募金会でとりまとめられ、令和4年度に天白区の地域福祉活動の財源として配分されるほか、県下の民間社会福祉施設の充実等に活用されます。今後とも共同募金にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

天白区共同募金委員会
〒468-0015 原一丁目301 原ターミナルビル3階
天白区社会福祉協議会内
TEL809-5550 FAX809-5551

※赤い羽根共同募金の使いみちなどの情報につきましては、ホームページ(http://www.akaihan.or.jp)をご覧ください。

2022年度 ボランティア保険のご案内

国内でのボランティア活動に関わる傷害・賠償事故を補償する保険として、「ボランティア活動保険」と「ボランティア行事用保険」があります。いずれの保険も、社会福祉協議会窓口にて受付を行っています。活動・行事前日までに申し込みください。

★ボランティア活動保険

国内において、ボランティア活動をする方が加入できる保険で、本人がケガをした場合や、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償される年度単位でご加入いただく保険です。

<1名あたりの保険料>

基本プラン	Aプラン 250円	Bプラン 300円	Cプラン 500円
基本+天災プラン ※地震・噴火・津波によるケガも補償	天災Aプラン 400円	天災Bプラン 500円	天災Cプラン 800円

★ボランティア行事用保険

国内において、福祉活動やボランティア活動を目的とする団体が加入できる保険で、主催する行事(自治会や町内会主催は対象外)で、行事参加者がケガをした場合や、行事主催者が法律上の損害賠償責任を負った場合に補償される行事単位でご加入いただく保険です。

保険料は、行事の内容や宿泊の有無等によって異なります。

申込・問合せ 天白区社会福祉協議会



次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(令和3年8月1日から令和4年1月末日受付分 受付順)

- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 鈴木 弘子 様 ●穴見 紀彰 様 合計 3件

